

# 人権教育だより

令和7年度

島根県立大東高等学校

1学期号

大東高校では、「多様性を認め、自他の人権を尊重し、社会に存在するさまざまな人権問題を主体的に解決しようとする生徒を育成すること」を人権教育の重点目標にしています。



## Ⅰ 学期人権教育ホームルームを実施

### 1年生 ～言い方次第で気持ちも変わる～

ロールプレイを行い、その時の自分や相手の気持ちを考えました。SNSが急速に発展していく世の中だからこそ、様々な場面において、相手の気持ちや立場を尊重しながら、自分の言いたいことを相手に伝えることができるようになってほしいと思います。

～生徒の感想より～

今日のホームルームで僕は伝え方によって相手の感じ取り方が違うことに気が付きました。感情的に自分の気持ちを伝えるより、冷静に相手に気持ちを伝えることが伝わりやすいということを思いました。日ごろから、クラスの友達や家庭でも言葉使いを意識していきたいと思います。また、相手に嫌な想いをさせないように、自分もモヤモヤした気持ちにならないように素直な気持ちを伝えたいと思います。

相手が嫌な想いをしたり、圧をかけたりしないような話し方が大切なんだと思いました。断りたいときには相手のためにも、ちゃんと伝えてあげることが大事だと考えました。

### 2年生 ～ハンセン病問題から学ぶ～

次のワークシートは、授業最初の生徒への問いです。保護者のみなさんもぜひ考えてみてください。

【ワークシートより抜粋】ハンセン病に関する次の文について、正しいものに○を、間違っているもの×をしましょう。

1. ハンセン病は感染力が強く、日常生活で感染する怖い病気である。( )
2. 過去、ハンセン病患者は、国の法律により強制的に療養所に隔離された。( )
3. 入所者の中には、自分の本名でない名前で生活せざるを得ない人も多くいた。( ) 答え 1 × 2 ○ 3 ○

～生徒の感想より～

ハンセン病については中学校で習っていたけど改めて色々なことを学んで今までの周りの差別や偏見によってハンセン病患者が大変だったことを知ってこれからの生活で周りに影響されないようにしていきたいです。世の中には自分が知らない病気もあると思うから周りに流されないように生活していきたいです。

今日の授業でコロナ時代を思い出しました。コロナのときも差別や偏見がたくさんあって言われた側は忘れることなく辛い思いをしていたと重ねて考えることができてとても勉強になりました。家族に会えなかったり、他人にいろんなことを言われても治療を続けた人は強いなと思いました。ホテル側の気持ちも考えてみると共感する意見も出て少し複雑でした。

僕はハンセン病のことをあまり知らなかったですが、今回の授業を通してハンセン病による差別があったことがわかりました。僕みたいな知識のない人たちが差別をしてしまうとわかったので、しっかり知識をつけて、ハンセン病のことを理解しておくようにしたいと思いました。

ハンセン病についてはある程度中学時代に学んだ知識があったと思っていたが、まだまだ知らない事実も多くあり驚いた。特に平成に入ってからハンセン病に関する法律が施行されていたことに驚いた。これからは今日学んだハンセン病に対する知識を忘れずに生活していきたい。

### 3 年生 ～公正な採用選考のために～

3 年生は面接試験場面における面接官と受験生のやり取りを見て、質問事項に問題がないかを考えました。「就職差別につながるおそれのある事項」について学び、本人の能力・適性に関係のないことを就職採用の資料にすることの不合理さを考えました。

就職差別につながる質問は、自分が思っている以上に多く、例えば尊敬する人物だったり愛読書など一見普通のように思えたけれど自由であるべき部分の把握に繋がることから職業差別になることがわかりました。また、全国で統一された採用選考の書類以外の書類が渡された場合それは提出しないことができることがわかりました。ほかにも、自分の責任ではない出生に関することや両親に関することが選考の基準にならないことを知ることができました。

この授業を受ける前は差別発言だとわかっていてもそのまま答えてしまっていたかもしれない。不適切な質問をされたときの対処法を学ぶことができたので良かったです。家族に関することや自分のプライベートのことなどは差別につながる質問とわかりましたが、尊敬する人物や愛読書なども差別につながる質問だと知り驚きました。知ることができ良かったです。面接試験の様子を今日の授業で知ることができ実際に面接をするとき想像することができた。これから就職などの面接試験のときに必要な知識になってくると思います。学校で練習して面接時に必要なスキルをしっかり身に付けていきたいです。

こういった質問が来た場合前までならなんとなく答えていたと思うが今回の授業を通してしっかりと見極めていき、差別的な選考は許さないという気持ちで行きたいと思います。また、こういった授業をするということは過去にこういった事が起きているということだから今日のことをしっかりと頭に入れておいていつかの面接本番に活かしていけるように覚えておきたいと思います。最後に自分も質問する側の立場になることもあると思うのでその時は改めて確認していきたいと思います。